

【松原市】SC をきっかけに台湾と友好協定

9月11日、大阪府松原市と台北市文山区がSCを超えた行政同士の友好協定を結びました。両コミュニティは、すでにセーフコミュニティ友好協定を結んでいます。この度、さらに文化や教育、産業など様々な分野の政策においても交流を通して発展していくこととなりました。松原市からは、市長及び議会代表が出席し、文山区からは、台北市や中央政府も同席し協定書への署名を見守りました。また、文山区の、「両者の交流はSCなしには始まらなかった！」という強い感謝から、台湾・日本のSC支援センターも招待され、協定締結の場に同席しました。



【海外】台湾セーフコミュニティ発展討論会

9月11日、毎年恒例の「台湾SC発展会議」が開催されました。まず、午前中は全国のSCに取り組むコミュニティが台北市文山区の取組みを視察しました。台湾全土から150人を超える方が参加され、バスを何台もチャーターしての大規模な視察となりました。

その後、昼食をはさんで、文山区のシンボルであり、SCをけん引しているお寺「指南宮」においてシンポジウムが開催されました。まず、JISC白石が「SC活動に学校はどう関与できるか」と題して日本のSCにおける学校安全の取組みやセーフスクール活動をお話させていただきました。続いて、台湾東部で長年NGOとしてSC活動をけん引しているヤン・ジュンピ氏がこれまでの取組みを報告されました。行政には任せてもらえない！と一念発起して夫婦で始めた活動は年月をかけて地域に根付き、現在では40人を超える職員を抱える一般社団法人となり、まちづくりの担い手として活動されています。

その後、休憩をはさんで、台湾・日本の首長による討論会が開催されました。蔡培林区長(台北市文山区)、李偉人区長(新北市金山区)、柳劍山区長(新竹市東区)、劉啟崇区長(台南市南区)、そして、日本の澤井宏文松原市長がパネリストとして登壇し、政治家そしてコミュニティのリーダーとしてSCを政策に活用している状況について紹介しました。



【松原市】民生委員児童委員にSCを紹介

9月12日、松原市において、大阪府民生委員児童委員協議会連合会河南ブロック合同研修会が開催され、JISC白石がセーフコミュニティにおける民生委員・児童委員が果たす役割についてお話をする機会をいただきました。

松原市では、民生委員・児童委員の代表がSC推進協議会の委員となっていることから、この度の機会をいただきましたが、松原市以外の自治体で民生委員・児童委員をされている方も多く出席されていたことから、SCとはなにか、民生委員・児童委員の活動にどうつながっているか、という点についてお話させていただきました。大阪の気質なのか、白石の質問にもノリよく答えてくださったり、笑いが起こったり、大会場にもかかわらず双方向感あふれる場となりました。



【久留米市】自殺予防キャンペーン

久留米市では、9月の自殺予防週間(10~16日)にあわせて街頭啓発を行いました。従来から様々な機会を通じて、自殺予防啓発は行われていますが、今回は学生ボランティアやゲートキーパー絆の会などの皆さんと一緒に啓発を行いました。今回、学生に参加いただくことで、若い世代に身近な問題として関心を持ってもらうことが期待されています。

また、ゲートキーパー養成講座を修了された市民の方によって結成された「ゲートキーパー絆の会」は、日頃から自主的に研修会を行ったり、市民目線での啓発を行っていますが、今回は協働で啓発を行いました。久留米市の自殺者数は減少傾向にありますが、このような取り組みを通して、更なる減少を目指しています。

(報告:久留米市協働推進部 安全安心推進課)

【十和田市】SC推進懇談会を開催

9月25日に十和田市で26年度第2回目のSC推進懇談会が開催されました。

今回の主な案件は、12月に予定している再認証申請に向け、提出する申請書の内容についての協議です。約130ページに及ぶ申請書及び補足説明書について、事務局から内容について説明・報告がされたのち、委員からデータや内容についていくつかのコメントや質問、助言等がありました。今後、今回の協議の内容を反映させて申請書を完成させ、申請の手続きに入ります。

【久留米市】県議会でSCが取上げられました

9月25日、福岡県議会26年9月定例会において田中正勝議員よりセーフコミュニティ(安全安心のまちづくり)の久留米市の取り組みについて質問がなされ、知事より答弁がありました。福岡県議会のホームページより質疑と答弁の様子(録画)が視聴できます。

http://www.fukuoka-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_day_id=354&category_id=2&inquiry_id=1352

(報告:久留米市協働推進部 安全安心推進課)

【ISS】韓国 亭子小学校3回目の認証式

9月26日午前、韓国水原(スウォン)市立亭子(ジュンジャ)初等学校において、3回目のISS認証式が執り行われました。まず、子供たちの合唱によって式が始まりました。続いて、京義(キョンギ)道、水原市の行政及び教育委員会、市議会、PTAや学校運営委員会など多くの方からの祝辞がありました。



今回は、校長先生も代替わりし、新たなチャレンジでもありました。前校長からの支援も受けつつ、環境改善(第一期)、安全行動(第二期)につづいて、「心の安全」に焦点を置いて取り組んだ3年間の成果をDVDにて紹介いただきました。最後に、学校代表としての校長と児童会長、これまでの取り組みを支援してきた韓国ISS支援・認証センター、そして審査員を務めたJISCが順番にステージに上がり、合意書に署名をしました。本校は、市内で最も古い学校で、設立後に周囲に集合住宅が次々と建てられたため、学校の規模に比べると児童数が多く(41クラス)、大きな行事を開催する場所がないという悩みがあります。そのため、認証式典も図書室で行うしかなく、児童や地域、関係組織の方たちを招待することができませんでした。ですが、校庭で関係組織や地域の方たちと安全フェスティバルを開催することで、子どもたちが楽しみながら安全について学ぶ場を設けました。子どもたちは、校庭一杯に設置された各種安全ブースを回り、体験したり、クイズに答えたりするとカードにスタンプを押してもらえ、校庭を走り回ってスタンプを集めていました。

その後、昼食をはさんで、アジョー大学に場所を移してISSシンポジウムが開催されました。韓国では、4月のセウォル号の参事以来、特に子供の安全教育への関心が高



まっています。児童会からの報告を含む5つのプレゼンテーション及びパネルディスカッションを通して、座学だけでなく体験の機会をいかにつくっていくか、という視点から今後のISSの在り方について議論がなされました。

【小諸市】市民安全安心フォーラムを開催

9月27日、小諸市において市民安全安心フォーラムが開催され、交通安全や高齢者の安全、自殺予防など、SC各対策委員会やサーベイランス委員会による報告がありました。



続いて、小諸市が去年から取り組んでいる「運動遊び事業」について講演が行われました。



9月はなにかと行事が多い時期ですが、それにもかかわらず、消防団や小諸市交通安全協会、それにセーフコミュニティ推進協議会の会員など、およそ200人が出席しました。出席者によるアンケートも「SCを学ぶよい機会になった」「もっと知りたい」など大変好評でした。(報告:総務部総務課 総務防災係)

【泉大津市】第1回外傷サーベイランス委員会

9月29日、泉大津市で第1回SC外傷サーベイランス委員会が開催されました。委員は地元警察、消防、医師会、保健所、労働基準監督局、市立病院、健康福祉部、教育委員会などの代表9人で構成されています。

【泉大津市】第1回外傷サーベイランス委員会

委員長、副委員長の選出ののち、委員の共通理解を図るため、JISC白石が「外傷サーベイランス委員会の役割」と題して簡単な講演を行いました。

その後、重点項目を検討し、対策委員会の設置を図るため、泉大津市の既存データや市民アンケート結果を整理した「地域診断のとりまとめ」の報告が事務局から行われました。委員会で検討した結果、対策委員会として、「交通安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「自殺予防」「犯罪・暴力の予防」「災害対策」の6分野の対策委員会の設置を推進協議会へ提案することになりました。

その後、重点項目を検討し、対策委員会の設置を図るため、泉大津市の既存データや市民アンケート結果を整理した「地域診断のとりまとめ」の報告が事務局から行われました。委員会で検討した結果、対策委員会として、「交通安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「自殺予防」「犯罪・暴力の予防」「災害対策」の6分野の対策委員会の設置を推進協議会へ提案することになりました。

